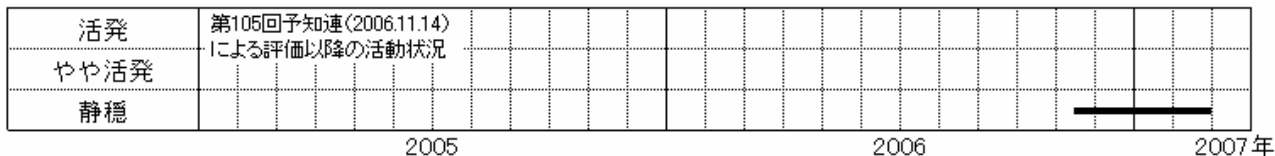


# 箱根山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。



## 最近の活動状況の推移

## ○ 概況

・噴気など表面現象の状況（図1）

環境省インターネット研究所の箱根・大涌谷カメラでは、大涌谷の噴気等に特段の異常は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況および地殻変動の状況（図2、図3）

16日から18日にかけて、駒ヶ岳の南西側を震源とする地震がやや増加しました。最大地震は17日12時26分に発生したマグニチュード<sup>1)</sup>2.1でした。

火山性微動は観測されませんでした

気象庁が湯河原に設置している体積歪計<sup>2)</sup>や神奈川県温泉地学研究所の傾斜計<sup>3)</sup>等による地殻変動観測では、今回の地震活動に関連した変化はなく、大涌谷などの噴気等の表面現象にも特段の変化はみられませんでした。

箱根山では、2001年に駒ヶ岳周辺を震源とする活発な地震活動(最大地震M2.8)があったほか、昨年9月下旬以降も同様な地震活動が時々発生しています。

- 1) マグニチュード (M) は地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- 2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。
- 3) 地面の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。



図1※ 箱根山 大涌谷の状況（2月16日、箱根・大涌谷カメラによる）

※ この資料は気象庁のほか、環境省インターネット研究所、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

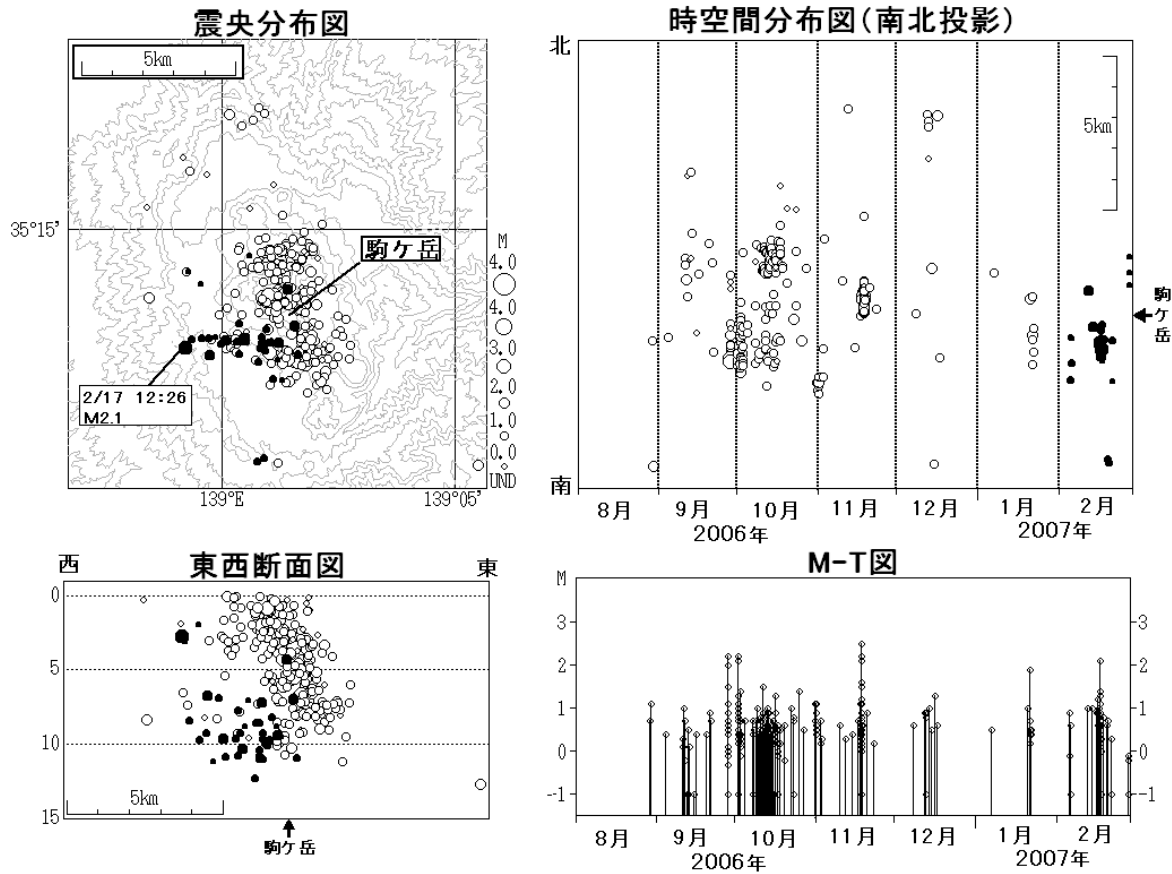


図 2※ 箱根山 地震活動経過（2006 年 8 月 1 日～2007 年 2 月 28 日）  
○：2006 年 8 月 1 日～2007 年 1 月 31 日 ●：2007 年 2 月 1 日～2007 年 2 月 28 日

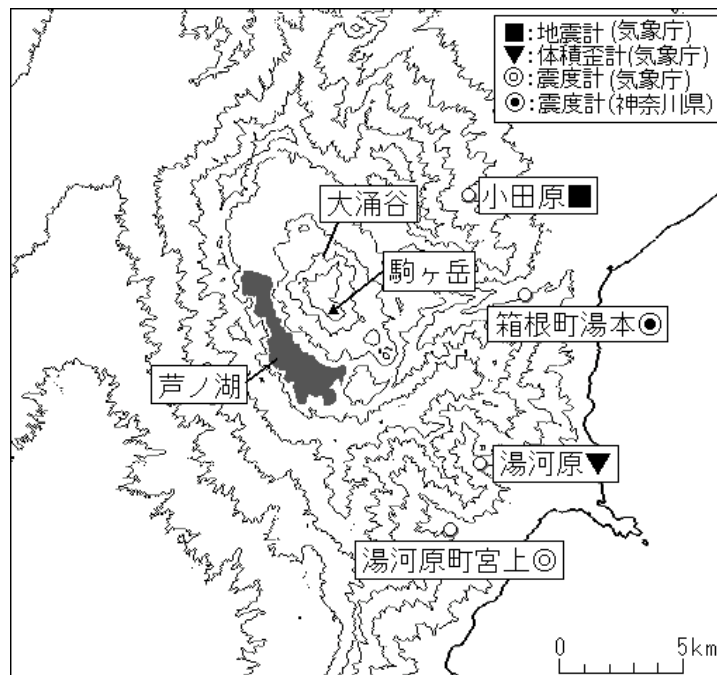


図 3 箱根山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）  
なお、図中には神奈川県内の震度観測点も含めてあります。